

2023(令和5)年度 第2回 Salon De 大学コンソーシアム大阪
生成AIの仕組みと限界ーガイドライン制定のその先を考えるー
参加者アンケート集計結果

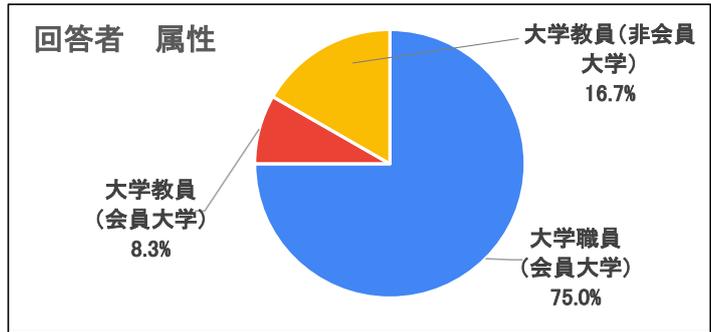
回答者数12名/参加者数14名 回収率85.7%

1.回答者について

(1)属性

大学職員(会員大学)	9
大学教員(会員大学)	1
大学教員(非会員大学)	2

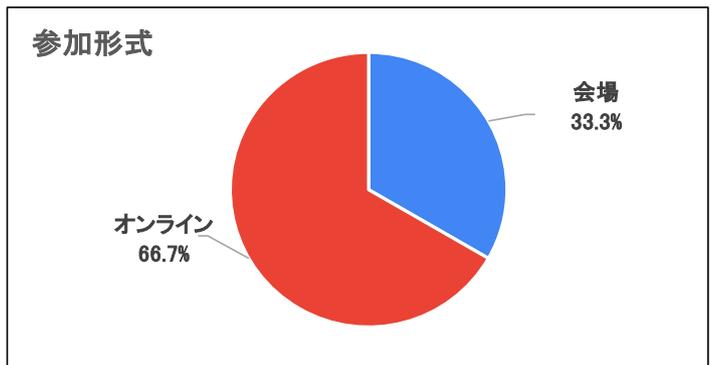
12



(2)参加形式

会場	4
オンライン	8

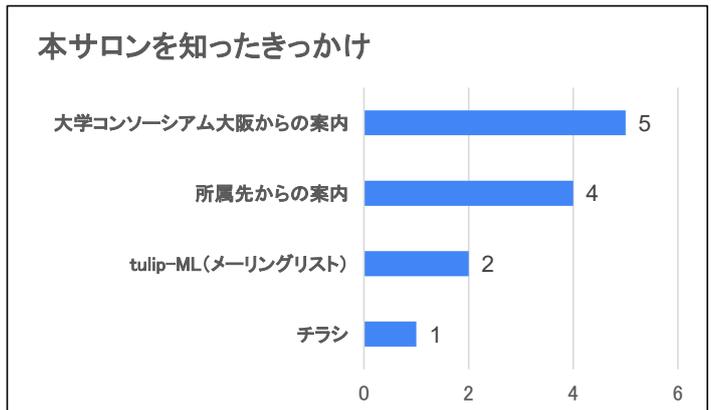
12



2.本サロン全般について

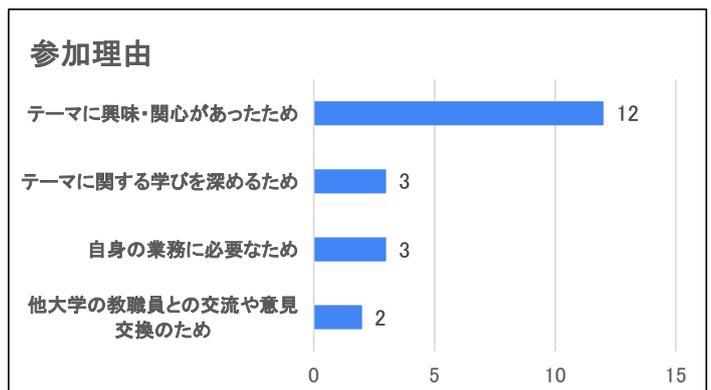
(1)本サロンを知ったきっかけ(複数回答可)

大学コンソーシアム大阪HP(SNS含む)	0
大学コンソーシアム大阪からの案内	5
チラシ	1
tulip-ML(メーリングリスト)	2
所属先からの案内	4



(2)参加理由(複数回答可)

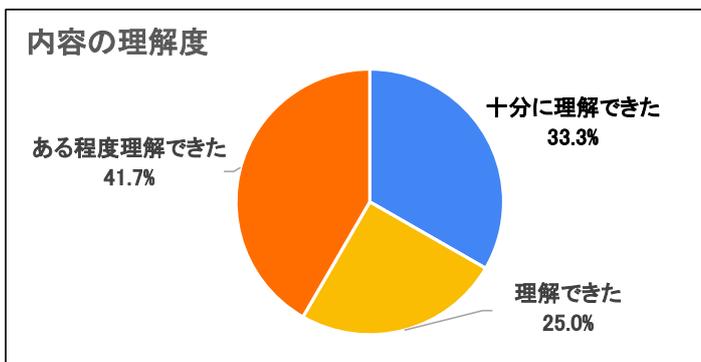
上司・所属先からの勧め	0
テーマに興味・関心があったため	12
テーマに関する学びを深めるため	3
自身の業務に必要なため	3
他大学の教職員との交流や意見交換のため	2



(3) 内容の理解度

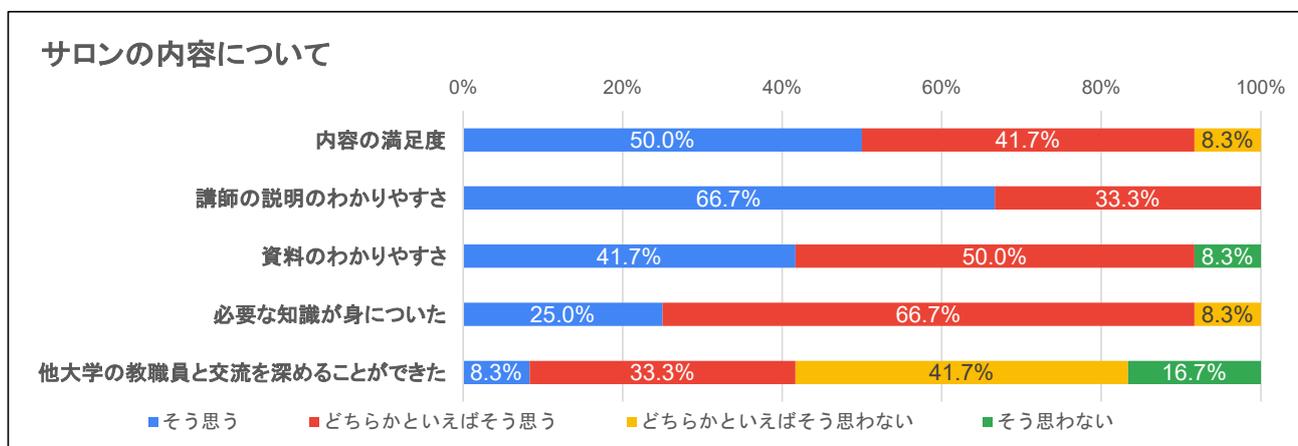
十分に理解できた	4
理解できた	3
ある程度理解できた	5
あまり理解できなかった	0

12



(4) サロンの内容について

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
内容について満足しているか	6	5	1	0
講師の説明はわかりやすかったか	8	4	0	0
提示された資料はわかりやすかったか	5	6	0	1
必要な知識を身につけることができたか	3	8	1	0
他大学の教職員と交流を深めることができたか	1	4	5	2

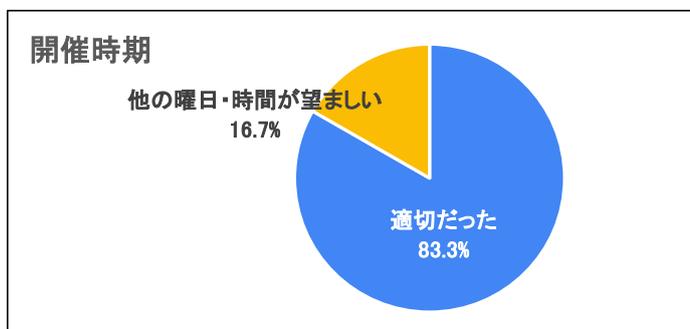


(5) 開催時期・時間について

適切だった	10
他の曜日・時間が望ましい	2

12

希望する開催時期・時間
 ・土曜日か日曜日
 ・業務時間内の時間帯に実施していただいた方がありがたい



(6) 本サロンに参加して良かったと思われる点

- ・生成AIについてその歴史を含めて知ることができ、またその利用に向けた大学での取り組みなどについても知ることができたこと。
- ・生成AIの台頭がもたらす課題や関心、懸念といったものが、大学関係者に共通したものであることが分かった点。
- ・生成AIについての仕組みを理解することができたことや、生成AIが当たり前の世の中で必要な能力など、学ぶことが多くあった。
- ・引き続き生成AIに興味を持っていこうと思った。
- ・ある程度調べて学んだことが、話を聞いてより理解することができたこと。
- ・大学の運営に関して、ネットワーキング、情報交換などができる端緒を作ることができた。

(7)本サロンをより良いものとするための提案

(特段の回答なし)

(8)上記以外の感想や意見

- ・参考になる情報がたくさんあり、生成AIの進化とともに、教職員の進化も必要であると痛感した。
- ・前半はテクニカルな話で難しかったが、後半の話はとても参考になった。
- ・時間が合わず、中途退出となったため、見逃し配信をお願いしたい。

(9)今後、本サロンで取り上げてほしいテーマ

- ・生成AIやRPAを活用した大学事務への取り組み事例や活用の考察。
- ・類似の業務を行っている人のお悩み情報交換会。同規模の大学の同様の業務を行っているところと情報交換ができればありがたい。